

シグマ研究委員会
昭和55年度 第3回運営委員会議事録

日 時 昭和55年6月5日(木) 13:30 ~ 17:30
場 所 原研東海研 研2棟322号室
出席者 塚田(委員長, 日大), 中嶋(法大), 飯島(NAIG), 松延(住友
原工), 宮坂(核管セ), 関(MAPI), 大竹(動燃), 原田, 田中
五十嵐, 菊池(原研)
オブザーバ : 梶山(東北大), 松本, 浅見(哲)(原研)

配布資料

1. 前回(55.5.2)議事録(案)
2. 核データニュース投稿規定案メモ
3. Chrien氏からの Request List についての letter
4. Symposium on Neutron Cross Sections from 10-50 MeV.

回覧資料

1. Status Reports and Further Activities in JAERI and Other Organizations of Japan (June 1980)
2. KDK-35, Compilation of Actinide Neutron Nuclear Data

議 事

1. 前回議事録確認
資料(1)により確認を行った。
2. 事務局報告
INDC会合に用いる日本からの Status Report が出来上がったことが報告され, 回覧された(回覧資料(1))。
3. 「核データニュース」誌
前回よりの継続審議として, 梶山氏より核データ専門誌の必要性について

での具体的な説明を受け、討議を行った。とくに数値データの発表形式について多くの議論があった。その後で、「核データニュース」に投稿原稿を掲載する際の規定の大筋案(資料(2))の説明が浅見氏よりあり、議論の結果、詳細は核データセンター(編集係)に一任して検討してもらうことになった。

4. 1980研究会

前回よりの継続審議として討議を行い、covariance data を中心とする小規模の討論会とすることにし、JENDL-2、JENDL-3の問題も含めて行うことにした。開催は12月上旬とし、詳細は検討委員会で詰めることになり、小委員会の委員長には飯島氏が選出された。

5. JENDL-3検討小委員会報告

事務局より中間報告として、現在、収納核種・反応等についてアンケート調査を行っていることが報告された。

6. 本委員会の準備

本委員会の議題の整理及び会合の段取り、報告者の時間の割り当て等を行った。事務局より、配布資料の原稿をなるべく早く出して欲しいとの要望があった。

7. 学会特別会合

松延氏から、秋の原子力学会での特別会合のテーマについて発議があり、議論の結果、「体系内のスペクトルの解析と核データ」と云ったテーマをとり挙げることにした。その際、事務局報告とともにJENDL-3計画についても報告することにした。

8. リクエスト・リスト

五十嵐氏から、資料(3)の説明とともに、Schmidt氏より問合せのあったWREND Aのinput及びoutputのフォーマットの問題について返答を出したことが報告された。

9. 原子力総合シンポジウム

松延氏より、学会に提案するシンポジウムのテーマについて発議があり、核データと応用分野と云ったテーマをとり挙げることにしたが、詳細は次回以降で更に検討することになった。

10. BNL シンポジウム報告

田中氏より、資料(4)を用い Symposium on Neutron Cross Sections from 10 -50 MeV の出席報告が行われた。なお、時間の都合で、第4回 NEAデータ・バンク委員会の出席報告は別の機会にさることになった。

次回は8月1日(金) 13:30より原研本部で行う予定。